

第5回大牟田市まちづくり基本条例 市民検討会摘録

開催日時：平成26年5月27日（火）午後6時30分から午後9時

開催場所：市役所北別館第1会議室

出席状況：市民検討会委員16人、職員13人、ファシリテーター2名、事務局4人

傍聴者：2名

1 開会

2 前回市民検討会の振り返り等

市民検討会ニュース4号により、市民及び行政に関する課題の原因と解決策について検討・発表を行ったことについて触れ、これらの解決策をもとに条例原案を検討していくことについて事務局より説明。

3 班分け ワークショップを行うため5班に班分け

4 意見集約について

市民及び行政の役割に関し、前回の市民検討会における課題解決のための意見等を参考にして事務局で作成した条例に盛り込む要素（別紙）について、各班から意見を出し合った。

○主な意見

（1）市民の役割

- ・まちづくりの定義とはどんなものか
- ・主体を「主体者」に変えてはどうか
- ・主体という言葉になじみがない。主体的、自主的といった表現はどうか
- ・情報に関して具体的にどのような情報なのか説明を加えてはどうか（例；行政の発信するまちづくりに関する情報）
- ・市民相互の連携、情報共有はどのようにやるのか、どのような状況かわかりにくい
- ・市民相互で連携し情報を共有する⇒コミュニティに参加するに変えては？
- ・地域とは？⇒町内？校区？自分が住むところ？
- ・地域の概念を具体的に書きたい。解説、但し書きを作ってはどうか
- ・どのような市民活動か？（例；地域のためになる市民活動）

【その他の意見】

- ・長期的、多面的に根本的に考えて欲しい
- ・町内公民館の崩壊を主要に協議し共有する

（2）行政の役割

- ・市政に関する情報をわかりやすく提供し、市民との情報を共有を図る

・参加の機会を確保する⇒促す、拡大する、つくる、担保するとしてみてはどうか

- ・市政を別の言葉に言い換える
- ・協働推進のための総合的な... ⇒表現がわかりにくい、説明が必要
- ・市民の意向... の前に時代の要請をという言葉を加えてはどうか
- ・行政運営、行政組織の改革に理由、目的が必要ではないか
- ・行政の役割にまちづくり、地域のキーワードがない

【その他の意見】

- ・公平・平等な行政運営を行うを追加する
- ・まちづくりの専門家として地域活動に対して助言を行うを追加する

5 課題と解決策の検討（情報共有について）

情報共有に関してその課題と解決策について意見出しとまとめの作業を行った。（別紙）

6 情報共有に関する講評（伊佐会長）

- ・情報収集に関しては年代、地域ごとに一度調査する必要がある。
- ・世代を超えた情報ツールを作るといった意見もあるがこれを行政で行うことは難しいので公募などの方法をとってみても良いのではないか
- ・情報が届かないということに関しては、①届ける方法が偏っている、②内容がミスマッチ、③分かりにくい（専門的過ぎる、情報が整理されていない）、④受け手が意識していない（これは情報の受け手と送り手両方にかかわる部分でもある）、⑤情報入手の手間とコストがかかるなどといった問題がある
- ・こういった問題を解決する1の方法として、市の窓口業務での経験したことを積み上げて事例集をつくる、ネットでの問合せを一つ一つ整理してFAQ事例集を作りそれを職員全体で共有し、改善していくといった方法がある。

7 事務局連絡

- ・次回市民検討会について

開催日時：平成26年6月27日（金）18時30分から

開催場所：市役所北別館第1会議室